

2016年度 決算説明会資料

〔2016年度業績および2017年度業績予想〕

—2017年5月9日—

京王電鉄株式会社

I. 2016年度通期の業績



II. 2017年度の取り組み



III. 2017年度の業績予想



I . 2016年度通期の業績

1. 連結損益計算書
2. 連結貸借対照表
3. 連結キャッシュ・フロー計算書
4. セグメント情報

1. 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

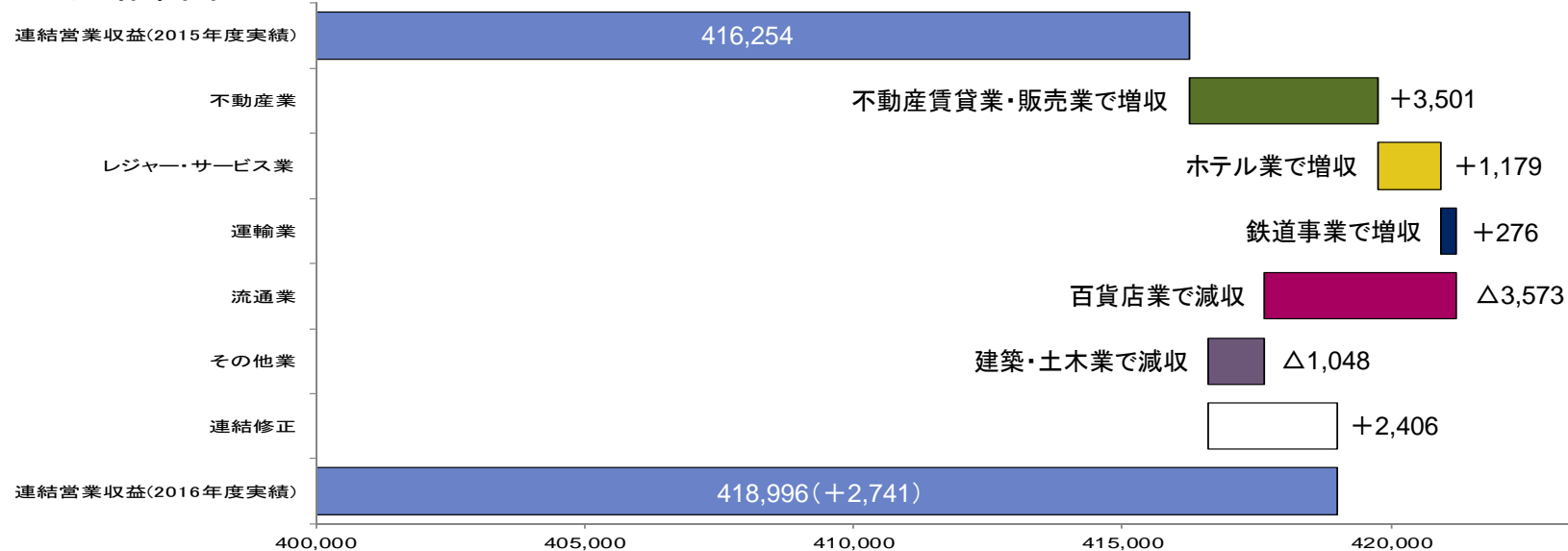
	2015年度 実績	2016年度 実績	増減 (増減率)	
連結営業収益	416,254	418,996	2,741	(0.7)
連結営業利益	37,758	37,976	218	(0.6)
連結経常利益	35,066	35,285	218	(0.6)
親会社株主に帰属する 当期純利益	19,468	21,168	1,699	(8.7)
連結 E B I T D A	73,740	73,063	△ 677	(△ 0.9)
連結減価償却費	35,577	34,681	△ 895	(△ 2.5)
資本的支出	46,397	61,793	15,396	(33.2)

(注) EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

1-2. 営業収益・営業利益の変動要因（対前期比較）

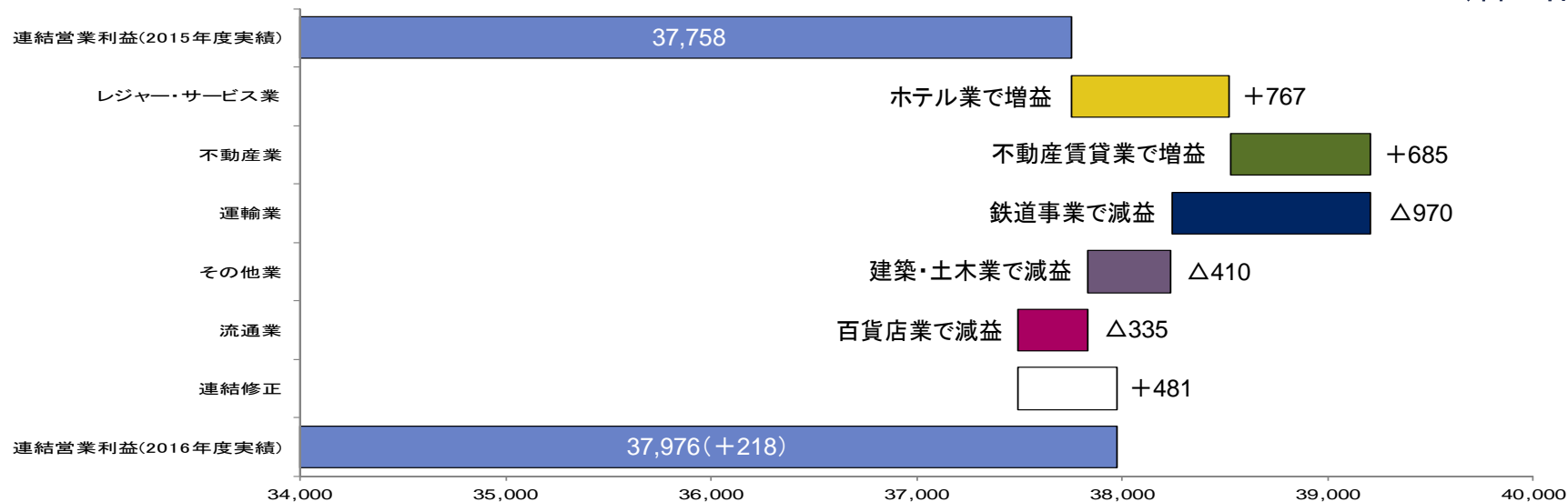
1. 連結営業収益

（単位：百万円）



2. 連結営業利益

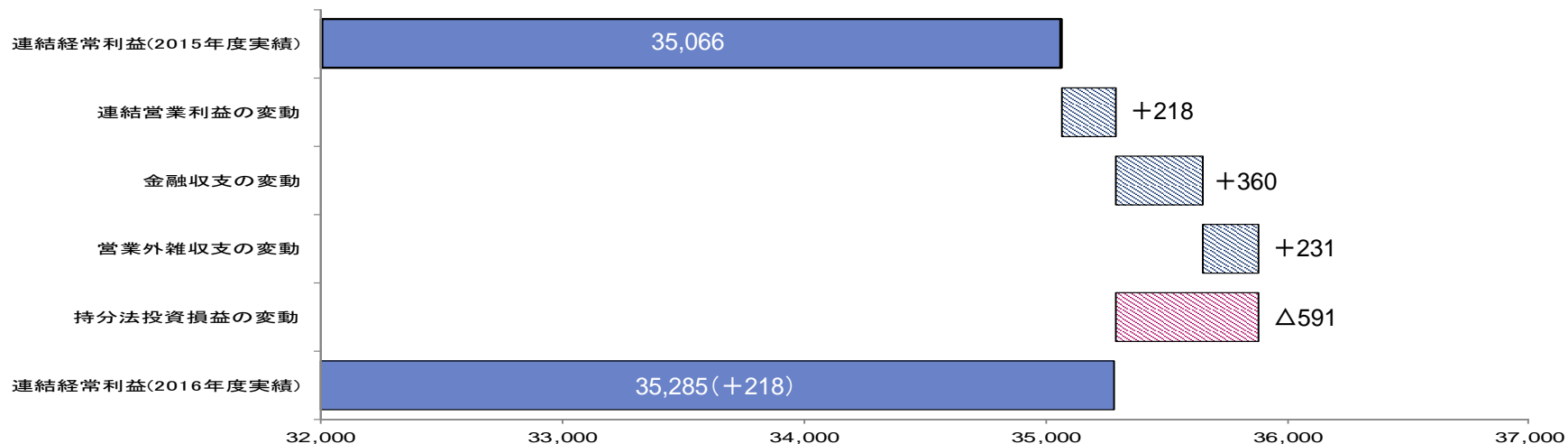
（単位：百万円）



1-3. 経常利益・当期純利益の変動要因（対前期比較）

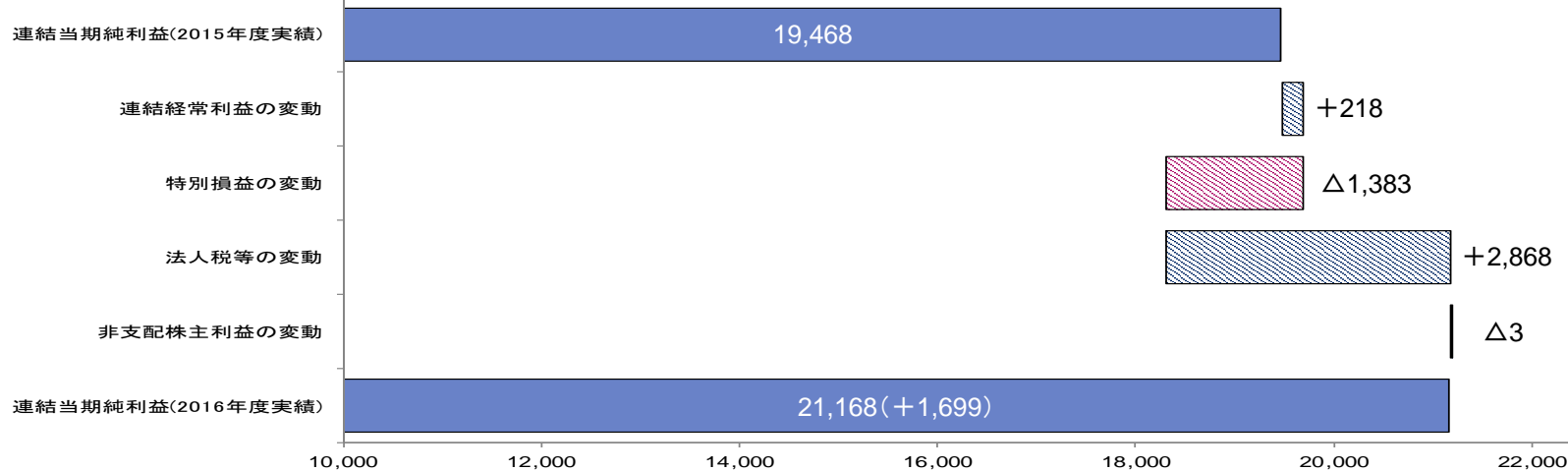
1. 連結経常利益

（単位：百万円）



2. 親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



2. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2015年度 実績	2016年度 実績	増減	増減要因
総 資 産	820,177	834,682	14,504	有形固定資産の増加など
負 債	508,358	502,661	△ 5,696	第24回無担保割引社債の償還など
純 資 産	311,818	332,020	20,201	親会社株主に帰属する当期純利益の計上など
負債及び純資産	820,177	834,682	14,504	
有利子負債	339,306	328,584	△ 10,721	

3.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2015年度 実績	2016年度 実績	増減	増減要因
営業活動 キャッシュ・フロー	54,247	49,440	△ 4,807	法人税等の支払額の増加など
投資活動 キャッシュ・フロー	△ 55,323	△ 65,908	△ 10,585	有形及び無形固定資産の取得 による支出など
財務活動 キャッシュ・フロー	25,530	△ 16,642	△ 42,172	社債の償還による支出など
現金及び 現金同等物の 期末残高	89,180	56,067	△ 33,113	

4.セグメント情報(構成状況)

連結会社

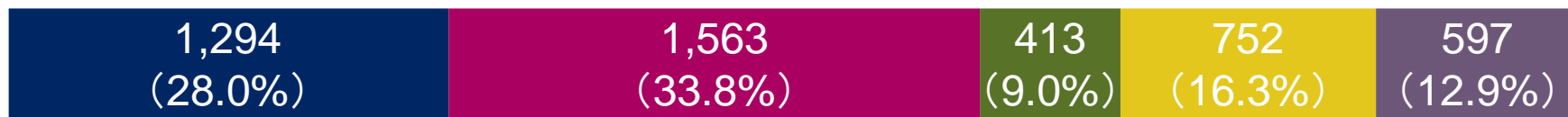
2017年3月末現在 47社 (京王電鉄、京王重機整備は複数の事業セグメントに重複)

運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業
京王電鉄 京王電鉄バス 京王自動車 他 14社	京王百貨店 京王ストア 京王書籍販売 他 5社	京王電鉄 京王不動産 リビタ 他 3社	京王プラザホテル 京王観光 京王エージェンシー 他 4社	京王設備サービス 京王重機整備 京王建設 他 9社

営業収益

2016年度: 4,189億円

<単位: 億円>



営業利益

2016年度: 379億円

<単位: 億円>



(注) セグメントの数値は、セグメント間取引を含む金額、構成比率である。

4.セグメント情報(運輸業①)

(単位：百万円、%)

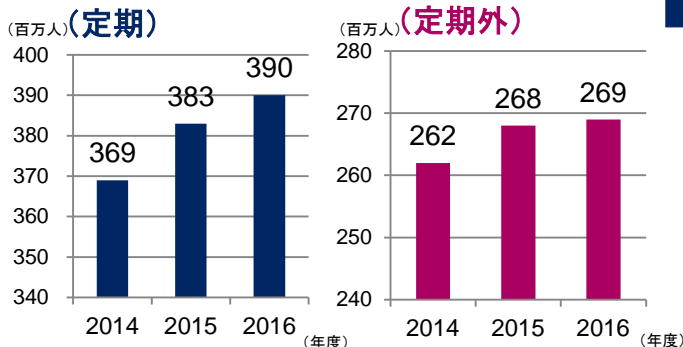
	2015年度 実績	2016年度 実績	増減 (増減率)	増減要因
(鉄 道 事 業)	83,776	84,558	782 (0.9)	次ページ参照
(バ ス 事 業)	35,327	35,035	△ 291 (△ 0.8)	新宿高速バスターミナル閉鎖による使用料の減少など
(タ ク シ ー 業)	12,500	13,185	684 (5.5)	
(そ の 他)	2,763	2,641	△ 122 (△ 4.4)	
(消 去)	△ 5,156	△ 5,933	△ 776	—
営 業 収 益	129,210	129,487	276 (0.2)	
営 業 利 益	15,089	14,118	△ 970 (△ 6.4)	鉄道事業における退職給付費用の増加など
減 価 償 却 費	23,392	22,372	△ 1,020 (△ 4.4)	
資 本 的 支 出	22,181	22,730	549 (2.5)	
E B I T D A	38,482	36,491	△ 1,991 (△ 5.2)	

4.セグメント情報(運輸業②[鉄道事業運輸成績])

(単位：千人、百万円、%)

		2015年度 実績	2016年度 実績	増減 (増減率)	増減要因
輸 送 人 員	定 期	383,728	390,503	6,775 (1.8)	雇用情勢の改善やダイヤ改正効果による増など
	(通 勤)	289,730	296,359	6,629 (2.3)	
	(通 学)	93,998	94,144	146 (0.2)	
	定 期 外	268,612	269,824	1,212 (0.5)	ダイヤ改正効果による増など
	合 計	652,340	660,327	7,987 (1.2)	
旅 客 運 輸 収 入	定 期	34,480	35,146	665 (1.9)	
	(通 勤)	30,792	31,449	657 (2.1)	
	(通 学)	3,688	3,696	8 (0.2)	
	定 期 外	45,832	46,071	238 (0.5)	
	合 計	80,313	81,217	903 (1.1)	

鉄道輸送人員の推移(2014~2016年度)



- 雇用情勢の改善やダイヤ改正効果が継続し
定期・定期外とも好調に推移

〔主なダイヤ改正の内容〕

2015年2月：井の頭線 早朝・深夜時間帯の急行増発、終電時刻の延長
 2015年9月：京王線 優等列車の停車駅追加、早朝時間帯の優等列車増発、
 都営新宿線直通列車の増発

4.セグメント情報(流通業)

(単位：百万円、%)

	2015年度 実績	2016年度 実績	増減 (増減率)	増減要因
(百貨店業)	87,456	84,854	△ 2,602 (△ 3.0)	売上の低迷など
(ストア業)	46,282	46,389	106 (0.2)	(注)
(書籍販売業)	8,198	7,224	△ 973 (△ 11.9)	不採算店舗を閉鎖した 影響など
(ショッピングセンター事業)	12,973	12,553	△ 420 (△ 3.2)	
(その他)	11,730	11,603	△ 127 (△ 1.1)	
(消去)	△ 6,694	△ 6,251	443	—
営業収益	159,946	156,373	△ 3,573 (△ 2.2)	
営業利益	4,724	4,389	△ 335 (△ 7.1)	
減価償却費	4,131	3,918	△ 212 (△ 5.1)	
資本的支出	4,931	9,274	4,342 (88.1)	
E B I T D A	8,855	8,308	△ 547 (△ 6.2)	

(注)2016年4月にストア業を運営する「株京王ストア」と販売店業を運営する「京王リテールサービス(株)」が合併したことに伴い、2016年度より販売店業はストア業に含めて表示している。前年度数値についても同様の組替を行っている。

(参考)京王百貨店における売上向上策

客層の拡大

×

販路の拡大



収益基盤の強化

新宿店の改装

- 新宿店の正面入口に「ロレックス ブティック」をオープン(都内百貨店最大級の品揃え・面積)
- 婦人服・食品・化粧品フロアを改装オープン

- 好調分野拡充による売上伸長
- 新たな客層の取り込み強化
- 新宿店のイメージ向上



ロレックス ブティック



アインズ&トルペ
(化粧品・雑貨売場)

サテライト店の拡充

- サテライト4店目となる昭島モリタウン店を出店(2016年10月)



昭島モリタウン店

☆エリア特性や顧客ニーズに対応

顧客接点拡大

セレクトチャー(株) 株式取得

- インターネット通販を事業とするセレクトチャー(株)を子会社化(2016年10月)

☆EC事業で新たな事業機会を創出

顧客基盤の拡充

4.セグメント情報(不動産業)

(単位：百万円、%)

	2015年度 実績	2016年度 実績	増減 (増減率)	増減要因
(不動産賃貸業)	31,966	33,951	1,985 (6.2)	賃貸物件の増など
(不動産販売業)	12,116	13,973	1,857 (15.3)	リノベーション物件の 売上増など
(その他)	1,483	1,823	340 (22.9)	
(消去)	△ 7,678	△ 8,359	△ 681	—
営業収益	37,888	41,389	3,501 (9.2)	
営業利益	8,633	9,318	685 (7.9)	
減価償却費	4,592	4,529	△ 63 (△ 1.4)	
資本的支出	11,604	10,064	△ 1,539 (△ 13.3)	
E B I T D A	13,630	14,253	622 (4.6)	

[参考] 不動産業の営業利益の内訳

(単位：億円、%)

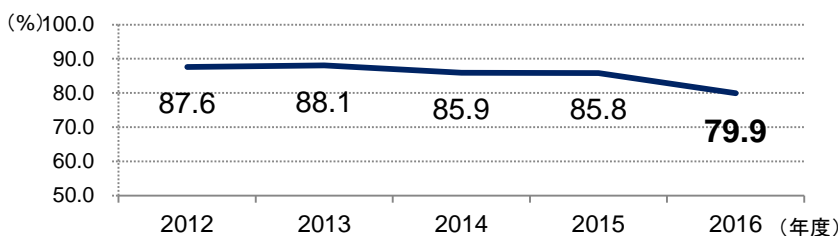
不動産賃貸業	82	89	7 (9.2)	
不動産販売業	11	7	△ 3 (△ 33.7)	

4.セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位：百万円、%)

	2015年度 実績	2016年度 実績	増減 (増減率)	増減要因
(ホテル業)	48,407	48,955	548 (1.1)	京王プレッソイン赤坂(2015年7月開業)の寄与など
(旅行業)	16,948	17,244	295 (1.7)	団体旅行の受注増など
(広告代理業)	12,091	12,283	192 (1.6)	
(その他)	6,275	6,533	257 (4.1)	
(消 去)	△ 9,643	△ 9,758	△ 114	—
営業収益	74,079	75,258	1,179 (1.6)	
営業利益	6,016	6,784	767 (12.8)	
減価償却費	3,342	3,752	409 (12.3)	
資本的支出	7,683	18,416	10,733 (139.7)	
E B I T D A	9,359	10,536	1,177 (12.6)	

[参考] 京王プラザホテル(新宿)客室稼働率の年度別推移



(参考)京王プラザホテルにおける売上向上策

- **客室改装の実施**による商品力強化
- ウェブを活用した**PR施策の展開**
- 訪日外国人客向け**イベント・ワークショップ開催**



外国人個人客などのお客様に訴求

客室改装の実施



- ・ 2016年12月、本館高層階客室を全面改装し、**最上級クラブフロア「プレミアグラン」**としてオープン
- ・ コンシェルジュが常駐する**「クラブラウンジ」**を新設

客室単価向上



プレミアグラン(本館37~41階)



都内最大級の広さを誇る専用クラブラウンジ

PR施策の展開



自社HP(日本語・外国語)、SNSの活用

ホテルの魅力を発信

自社HP(英語)

イベント・ワークショップの開催

訪日外国人客に人気の**日本文化を体験**できる企画や、非日常的なホテルステイを楽しめる施策を展開



茶室での抹茶体験

4.セグメント情報(その他業)

(単位：百万円、%)

	2015年度 実績	2016年度 実績	増減(増減率)	増減要因
(ビル総合管理業)	22,498	23,758	1,259 (5.6)	
(車両整備業)	9,468	10,264	796 (8.4)	
(建築・土木業)	24,222	21,479	△ 2,742 (△ 11.3)	完成工事高の減少など
(その他)	7,140	7,526	385 (5.4)	
(消去)	△ 2,484	△ 3,231	△ 746 —	
営業収益	60,845	59,796	△ 1,048 (△ 1.7)	
営業利益	4,347	3,936	△ 410 (△ 9.4)	
減価償却費	309	330	20 (6.7)	
資本的支出	605	1,055	450 (74.4)	
E B I T D A	4,656	4,266	△ 390 (△ 8.4)	

Ⅱ. 2017年度の取り組み

1. 中長期的な投資案件スケジュール
2. 2017年度における各施策
 - (1) 安全性・収益力の向上
 - ①安全性・利便性向上施策
〔京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業など〕
 - ②座席指定列車の導入
 - (2) 事業の拡大
 - ①ホテル事業の拡大
 - ②宿泊特化型アッパーミドルホテルの展開
 - ③リビタにおけるリノベーション事業の拡大
 - ④民泊事業への参入
 - ⑤インバウンドビジネスの拡大
 - (3) 沿線拠点の活性化
 - ①調布駅周辺の開発
 - ②高尾山エリアの活性化
 - (4) 沿線価値の向上
生活支援サービスの多面的展開

1. 中長期的な投資案件スケジュール

	2015年度	2016年度	2017年度	～
(1) 安全性・収益力の向上				
笹塚駅～仙川駅間連続立体交差事業		用地取得および設計業務		
ダイヤ改正	2015年9月 京王線・井の頭線	2016年9月 京王線・井の頭線		2018年春予定
座席指定列車の導入	導入決定	新型車両の設計・製造	運行開始 2018年春予定	
(2) 事業の拡大				
ホテル事業の拡大	<新業態ホテル> <京王プレッソイン> 赤坂店 2015年7月開業		京王プレミアホテル京都烏丸五条(仮称) 東京駅八重洲店 2017年8月開業予定 浜松町店 2017年12月開業予定	2018年秋開業予定 京王プレッソイン出店拡大
リノベーション事業の拡大	シェア型複合ホテル1号店 2016年3月開業(金沢)	シェア型複合ホテル2号店 2017年3月開業(東京清澄)	シェア型複合ホテル 3.4号店開業予定(函館、金沢)	シェアコミュニティ 市場等の拡大
インバウンドビジネスの拡大	民泊事業者株式取得	新たな広域観光ルートづくり 新たなフリーきっぷの造成 新宿における拠点整備	2017年2月 民泊マンション開業	インバウンドビジネスの検討・実施の継続
海外関連事業の拡大	台湾茶カフェ1号店開業 中国カレーレストラン1号店開業	台湾茶カフェ・中国カレーレストランの多店舗展開		海外関連事業の検討・実施の継続
(3) 沿線拠点の活性化				
調布駅周辺の開発		2016年4月着工		2017年秋開業予定
新宿などの沿線拠点活性化		将来に向けた検討の		継続
多摩動物公園エリア魅力向上への取り組み			子供向け屋内型遊戯施設の建設	2018年春開業予定
(4) 沿線価値の向上				
生活支援サービスの多面的展開	<子育て支援事業> 子育て支援賃貸マンション 2016年3月完成	介護付有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	新規保育施設等の検討 シニア向け事業の検討・実施の継続
	<シニア向け事業>	2016年5月開業	2017年2月開業	
	<葬祭事業>	京王メモリアル調布 2016年6月開業	京王メモリアル多摩センター 2017年6月開業予定	新規開設に向けた検討

2. 2017年度における各施策

(1) 安全性・収益力の向上

① 安全性・利便性向上施策

■ 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進

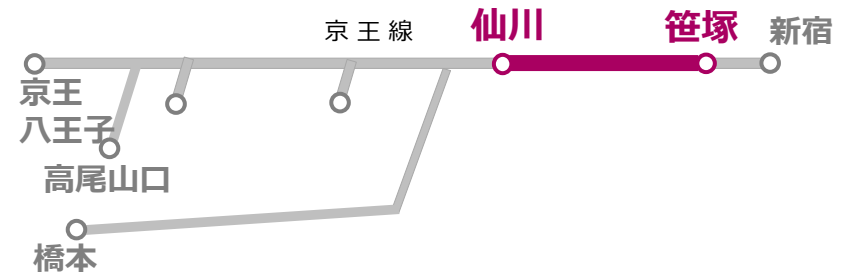
【事業概要】

笹塚～仙川間約7.2kmを高架化

25箇所の踏切を廃止

【想定される事業効果】

- ・ 踏切廃止による **道路と鉄道の安全性向上**
- ・ 踏切待ちによる **交通渋滞の解消**
- ・ 鉄道により分断されていた **市街地の一体化**



■ ホームドアの整備

- ・ 新宿駅・吉祥寺駅など **5駅に整備済み**
- ・ 駅利用者数(1日平均) **10万人以上**の駅を優先して整備を進める
- ・ 2017年度は新線新宿駅・渋谷駅で工事に着手
⇒2018年度の使用開始目指す



吉祥寺駅

■ 駅リニューアルの実施

- ・ 老朽化した駅をリニューアルし、サービス向上を図る
- ・ 2017年度は京王よみうりランド駅・府中駅で実施



京王よみうりランド駅
(イメージ)

2. 2017年度における各施策

(1) 安全性・収益力の向上

② 座席指定列車の導入

- 長距離区間ご利用のお客様の**着席ニーズ**に対応 → **サービスの向上**
- 座席指定料金を収受 → **収益力の向上**



外観(イメージ)



内装(イメージ)

クロスシートからロングシートへ転換できる座席を採用
座席指定列車の時はクロスシート、その他の時はロングシートにして運行

座席指定列車サービスの概要(予定)

- 開始時期 **2018年春**(ダイヤ改正に合わせて)
- 行先 ①新宿発・京王八王子行き、②新宿発・橋本行き
- 時間帯 平日・土休日の**夜間帰宅時間帯**
- 車両 新型車両5000系 50両
- 投資額 約100億円

- 2017年4月27日～5月19日
愛称投票実施中 (愛称決定は2018年1月予定)
- 2017年9月～
新型車両5000系がロングシートで
営業運転開始(予定)

2. 2017年度における各施策

(2) 事業の拡大

① ホテル事業の拡大

- 今後、訪日外国人の増加等により、成長が期待されるホテル事業をより強化・推進するため、新業態ホテルの開発・展開を進める

京王グループにおけるホテル事業

< 既存 >

高
↑
平均単価・グレード

< 新業態 >

京王プラザホテル

(都市型総合シティホテル)



- 客室を中心とした**改装**による商品力の向上



京王プレッソイン

(宿泊特化型バジェットホテル)

- **3,000室体制**の早期実現



京王プレッソイン
東京駅八重洲
(2017年8月開業予定)



京王プレッソイン
浜松町
(2017年12月開業予定)

京王プレリアホテル

(宿泊特化型アッパーミドルホテル)



- 2018年秋 **京都**で開業予定
- 2019年夏 **札幌**で開業予定

THE SHARE HOTELS

(シェア型複合ホテル)

- 2017年3月 **東京(清澄)**に2号店開業
- 2017年5月 **函館**で開業予定
- 2017年夏 **金沢**で開業予定
- 2019年度までに7店舗体制となる見込み

民泊事業

- 2017年2月 **蒲田**で**民泊マンション**開業
- 以降～ 法整備の状況踏まえ展開

2. 2017年度における各施策

(2) 事業の拡大

② 宿泊特化型アッパーミドルホテルの展開

- 新しいカテゴリーの宿泊特化型ホテル「京王プレリアホテル」を展開
- 2018年秋に京都、2019年夏に札幌で開業を目指す



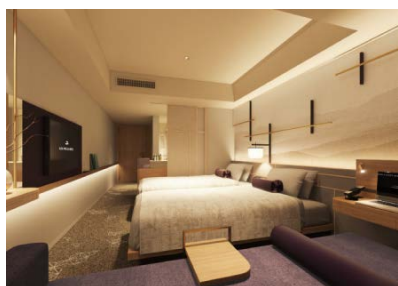
〔ホテルの特徴〕

- ビジネスのほか、訪日外国人を含む観光・レジャーのお客様の利用を想定
- 幅広いお客様のニーズに応える客室構成

京王プレリアホテル京都烏丸五条〔仮称〕 (2018年秋 開業予定)



外観(イメージ)



客室(イメージ)

客室数	305室(予定)
付帯施設	・レストラン ・大浴場 など
運営会社	(株)京王プレリア ホテル京都 ※

※京都でのホテル運営を行う新会社として2017年5月設立予定

京王プレリアホテル札幌〔仮称〕 (2019年夏 開業予定)



外観(イメージ)



ロビー・フロント(イメージ)

客室数	359室(予定)
付帯施設	・レストラン ・大浴場 ・駐車場 など
運営会社	(株)京王プラザ ホテル札幌

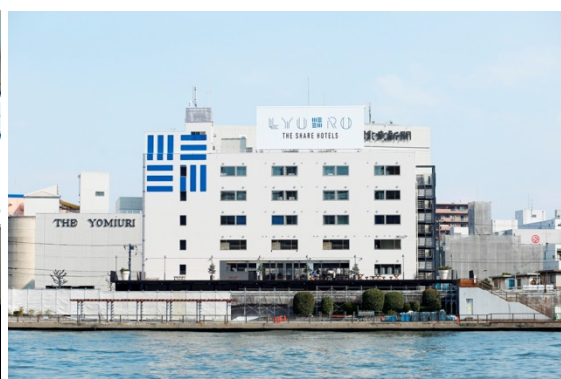
2. 2017年度における各施策

(2) 事業の拡大

③リビタにおけるリノベーション事業の拡大

- 2017年3月、**東京(清澄)にTHE SHARE HOTELS(シェア型複合ホテル)2号店開業**
- 2017年5月 **函館**へ3号店、2017年夏 **金沢**へ4号店開業予定
- 2019年度までに7店舗体制となる見込み

2号店「LYURO (リュウロ) 東京清澄」 (2017年3月開業)

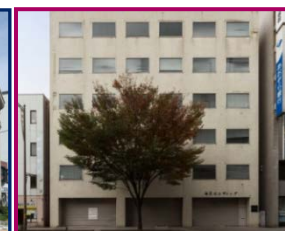


所在地	東京都江東区
建物規模	地上6階 (築28年のビルをリノベーション)
客室数	ドミトリータイプ 30ベッド、個室タイプ23室
収容人数	102名



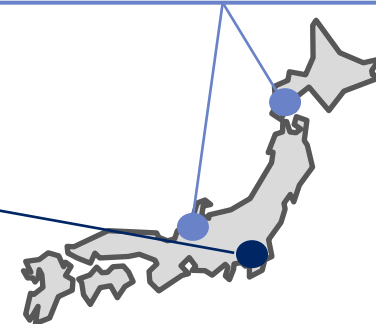
※隅田川河川敷を有効活用した多目的スペース「かわてらす」を開設

今後の開業予定



現況写真

- (左) **HakoBA(ハコバ)函館** : 2017年5月末開業予定
 (右) **金沢二号店** : 2017年夏開業予定



※THE SHARE HOTELS(シェア型複合ホテル)について

- 全国各地の老朽化した**遊休不動産**(オフィスビル等)に、**用途変更を伴うリノベーション**を実施
 ⇒ 宿泊施設、飲食店、シェアスペース等で構成する「シェア型複合ホテル」へ再生
 企画・プロデュースから運営事業まで手がける
- リビタのリノベーションノウハウ、シェアの概念、コミュニティ醸成の企画や運営ノウハウを活用

2. 2017年度における各施策

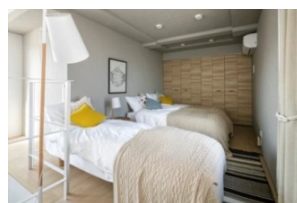
(2) 事業の拡大

④ 民泊事業への参入

- 2017年2月、大田区蒲田において、合法の**一棟まるごと民泊マンションを開業**（鉄道業界初）
- 「不動産の活性化と旺盛な宿泊ニーズ」を繋ぐ**新たな成長マーケットとして民泊に着目**

当社グループの不動産事業や、インバウンド需要等との親和性 → **グループ事業機会の拡大へ**

民泊マンション「KARIO KAMATA（カリオ カマタ）」（2017年2月開業）



所在地	東京都大田区
客室・間取り	14室 1K(約25㎡)／定員3名、9室 1LDK(約42㎡)／定員4名、3室 2DK(約48㎡)／定員5名、2室
運営・管理	京王不動産
インテリアデザイン	リビタ
設備・備品	Free Wi-Fi、システムキッチン、エアコン、浴室乾燥機、家電、調理器具、食器、タオル類 等



今後の取り組み

京王沿線における空き家対策やまちづくりに活用 → 沿線のさらなる活性化

（法整備の状況を踏まえ、地域と連携し民泊のエリア展開を進める）

【当社での事業展開におけるメリット】

- 不動産事業・ホテル運営事業のノウハウを保有
- 資本提携している民泊関連企業「百戦錬磨」のコンテンツ活用

2. 2017年度における各施策

(2) 事業の拡大

⑤ インバウンドビジネスの拡大

■ 将来的な資本提携を前提に、高山グリーンホテルおよび株主と、提携基本契約を締結



中央道を中心とするインバウンド戦略を推進
高山エリアの宿泊・観光需要がもたらす利益の享受



高山グリーンホテル (ブランド力・地域との関係性が強い老舗ホテル)

【概要】

所在地	岐阜県 高山市 西之一色町
資本金	498,000千円
設立	1972年7月
施設	客室(207室) レストラン(7店舗) 宴会場(13会場) 土産物店(1ヶ所)※地域最大規模



今後の取り組み

■ 地域のシンボルとなるホテルを目指し、
将来的な資本提携を前提に、さらに連携を強化

- 客室主体の新たな施設の建設
- 営業面・運営面での人的な連携 など

2. 2017年度における各施策

(3) 沿線拠点の活性化

① 調布駅周辺の開発



■ 商業施設「トリエ京王調布」開業予定
(2017年秋)



沿線拠点・調布への来街機会拡大
街の賑わい創出

出店店舗: 調布ゆかりの店舗を含む
72店舗
延床面積: 約 **38,000㎡**
ターゲット: 「自然体でいながらも
ちょっとセンスアップした
生活に憧れる女性と
その女性に繋がる人々」

■ 各館の主な入居テナント

A館



ファッション、雑貨、カフェ、レストラン等

京王百貨店(サテライト店舗)、
成城石井(関東最大級) ほか

B館



家電量販店等

ビックカメラ ほか

C館



シネマコンプレックス等

イオンシネマ シアタス調布
猿田彦珈琲(珈琲焙煎工場併設) ほか

Ac AEON CINEMA
THEATUS
CHOFU

■ シネマコンプレックス「イオンシネマ シアタス調布」について

- ・ **11スクリーン**、総座席数約**1,650席**の大型シネマコンプレックス
- ・ 500席を超える都内シネコン最大級の劇場を配備
- ・ 体感型アトラクションシアター「4DX」を導入

※パースはイメージ

2. 2017年度における各施策

(3) 沿線拠点の活性化

② 高尾山エリアの活性化

■ 高尾登山電鉄(株)を子会社化するなど、高尾山エリアの活性化施策を推進

[これまでの取り組み]



京王高尾山温泉 / 極楽湯



高尾山口駅リニューアル



高尾山トレイン



TAKAO 599 MUSEUM

高尾登山電鉄(株) 株式取得 (2017年3月)



事業概要	ケーブルカー・リフト・食堂事業 他
資本金	1億円
売上高	1,550百万円 (2016年度)
利用者数	215万人 (2016年度)

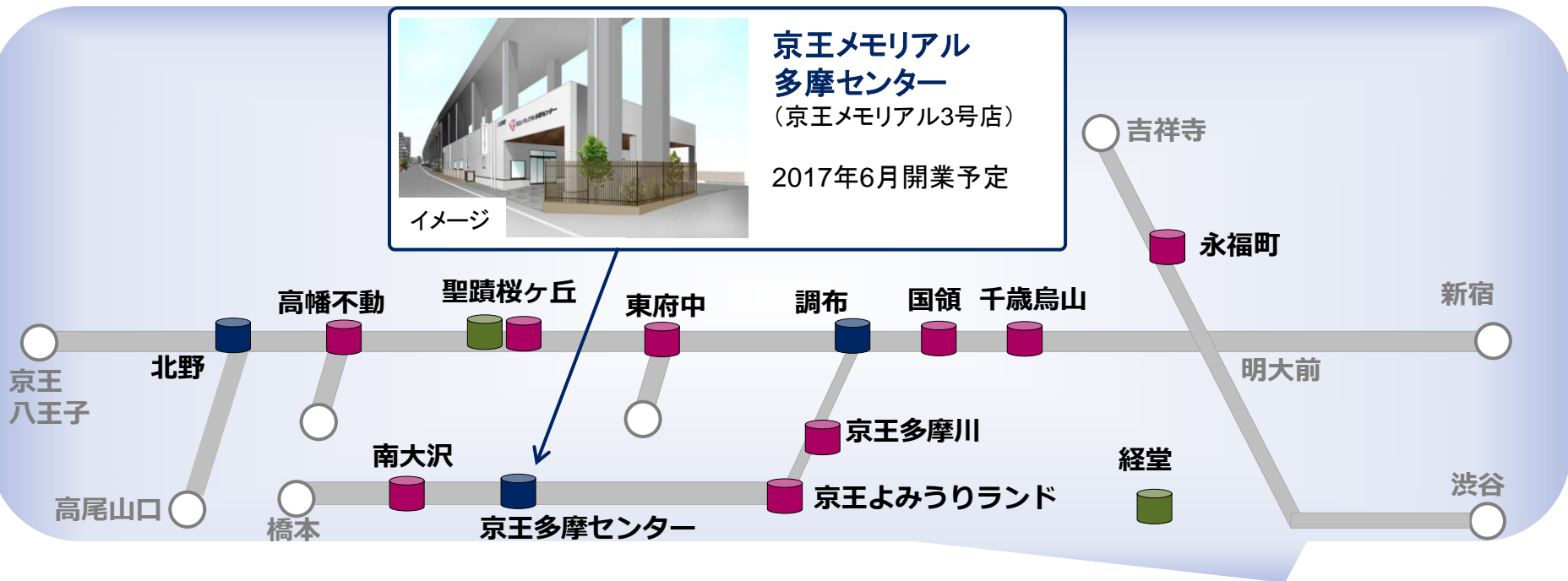
高尾山エリアの活性化施策推進

鉄道輸送人員増加、沿線イメージの向上

2. 2017年度における各施策

(4) 沿線価値の向上

生活支援サービスの多面的展開



シニア向け事業

- ・スマイラス聖蹟桜ヶ丘 (サービス付き高齢者向け住宅)
- ・アリストージュ経堂 (介護付有料老人ホーム)



子育て支援事業

- ・京王キッズプラッツ(保育園)
- ・自治体等からの受託事業
- ・事業所内保育所の地域開放



葬祭事業

- 京王メモリアル
- ・北野
- ・調布
- ・多摩センター



京王ほっとネットワーク

- (生活サポートサービス)
- …沿線全域で展開



Ⅲ. 2017年度の業績予想

1. 連結損益計算書
2. セグメント情報
3. 連結当期純利益および配当の推移
4. 〔参考〕 上期の業績予想

1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

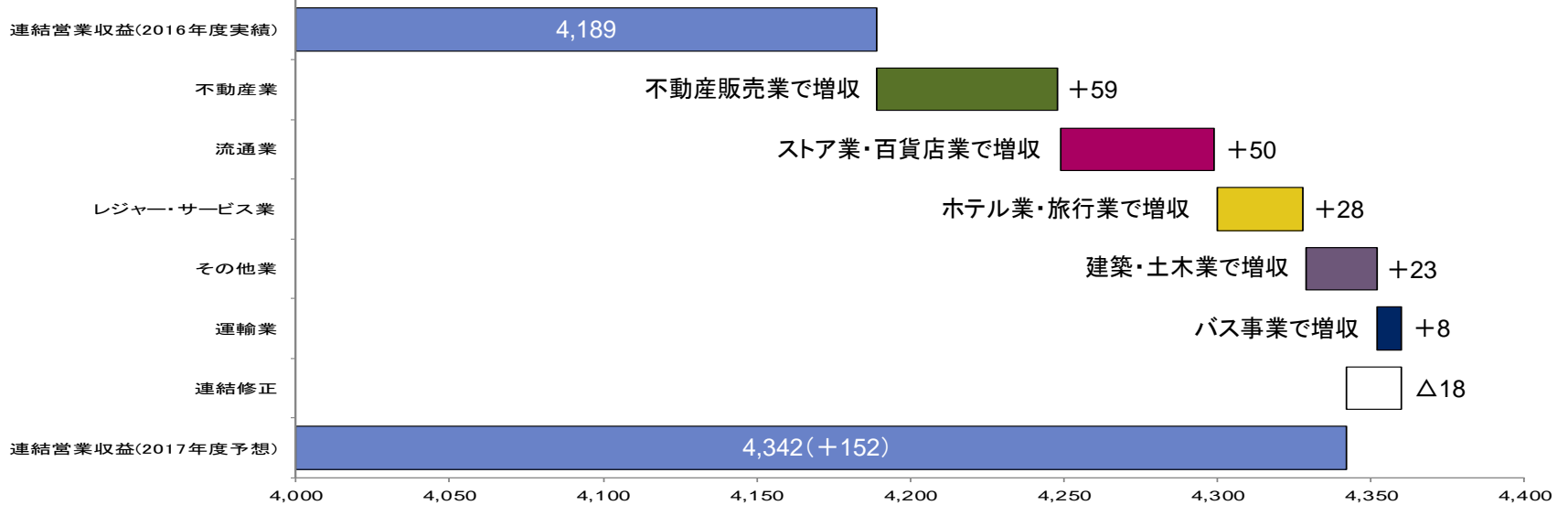
	2016年度 実績	2017年度 予想	増減 (増減率)
連結営業収益	4,189	4,342	152 (3.6)
連結営業利益	379	389	9 (2.4)
連結経常利益	352	367	14 (4.0)
親会社株主に帰属する 当期純利益	211	230	18 (8.7)
連結 E B I T D A	730	748	18 (2.5)
連結減価償却費	346	355	8 (2.4)
資本的支出	617	845	227 (36.9)

(注) EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

1-2. 営業収益・営業利益の変動要因（対前期比較）

1. 連結営業収益

（単位：億円）



2. 連結営業利益

（単位：億円）



2.セグメント情報(運輸業①)

(単位：億円、%)

	2016年度 実績	2017年度 予想	増減 (増減率)	増減要因
(鉄 道 事 業)	845	849	3 (0.4)	次ページ参照
(バ ス 事 業)	350	357	7 (2.0)	
(タ ク シ ー 業)	131	131	△ 0 (△ 0.6)	
(そ の 他)	26	25	△ 1 (△ 4.4)	
(消 去)	△ 59	△ 59	△ 0 —	
営 業 収 益	1,294	1,303	8 (0.6)	
営 業 利 益	141	140	△ 0 (△ 0.3)	
減 価 償 却 費	223	228	4 (2.0)	
資 本 的 支 出	227	360	133 (58.8)	
E B I T D A	364	369	4 (1.1)	

2.セグメント情報(運輸業②[鉄道事業運輸成績])

(単位：千人、百万円、%)

		2016年度 実績	2017年度 予想	増減 (増減率)	増減要因
輸 送 人 員	定 期	390,503	392,812	2,309 (0.6)	雇用情勢の改善による増など
	(通 勤)	296,359	298,652	2,293 (0.8)	
	(通 学)	94,144	94,160	16 (0.0)	
	定 期 外	269,824	270,462	638 (0.2)	
	合 計	660,327	663,274	2,947 (0.4)	
旅 客 運 輸 収 入	定 期	35,146	35,390	244 (0.7)	
	(通 勤)	31,449	31,692	242 (0.8)	
	(通 学)	3,696	3,698	1 (0.1)	
	定 期 外	46,071	46,167	96 (0.2)	
	合 計	81,217	81,557	340 (0.4)	

2.セグメント情報(流通業)

(単位：億円、%)

	2016年度 実績	2017年度 予想	増減 (増減率)	増減要因
(百貨店業)	848	872	23 (2.8)	客層・販路拡大による 売上増など
(ストア業)	463	489	25 (5.5)	新規出店など
(書籍販売業)	72	67	△ 5 (△ 7.3)	
(ショッピングセンター事業)	125	133	7 (6.0)	
(その他)	116	117	1 (1.4)	
(消去)	△ 62	△ 65	△ 2	—
営業収益	1,563	1,614	50 (3.2)	
営業利益	43	40	△ 3 (△ 8.1)	新規出店に伴う費用増 など
減価償却費	39	41	2 (5.6)	
資本的支出	92	141	49 (52.9)	
E B I T D A	83	81	△ 1 (△ 1.7)	

2.セグメント情報(不動産業)

(単位：億円、%)

	2016年度 実績	2017年度 予想	増減 (増減率)	増減要因
(不動産賃貸業)	339	342	2 (0.9)	
(不動産販売業)	139	192	52 (37.5)	リノベーション物件の 売上増など
(その他)	18	21	3 (19.3)	
(消去)	△ 83	△ 82	0 —	
営業収益	413	473	59 (14.4)	
営業利益	93	97	4 (4.7)	
減価償却費	45	45	0 (0.4)	
資本的支出	100	224	123 (122.7)	
E B I T D A	142	147	4 (3.2)	

[参考] 不動産業の営業利益の内訳

(単位：億円、%)

不動産賃貸業	89	94	4 (5.0)	
不動産販売業	7	10	3 (44.3)	

2.セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位：億円、%)

	2016年度 実績	2017年度 予想	増減 (増減率)	増減要因
(ホテル業)	489	513	23 (4.8)	京王プレッソインの新規出店 など
(旅行業)	172	185	12 (7.3)	団体旅行の増など
(広告代理業)	122	123	0 (0.5)	
(その他)	65	67	1 (2.6)	
(消 去)	△ 97	△ 107	△ 9	—
営 業 収 益	752	781	28 (3.8)	
営 業 利 益	67	71	4 (5.9)	
減 価 償 却 費	37	39	1 (4.0)	
資 本 的 支 出	184	119	△ 64 (△ 34.9)	
E B I T D A	105	110	5 (5.3)	

[参考] 京王プラザホテル(新宿)の客室稼働率〔累計〕

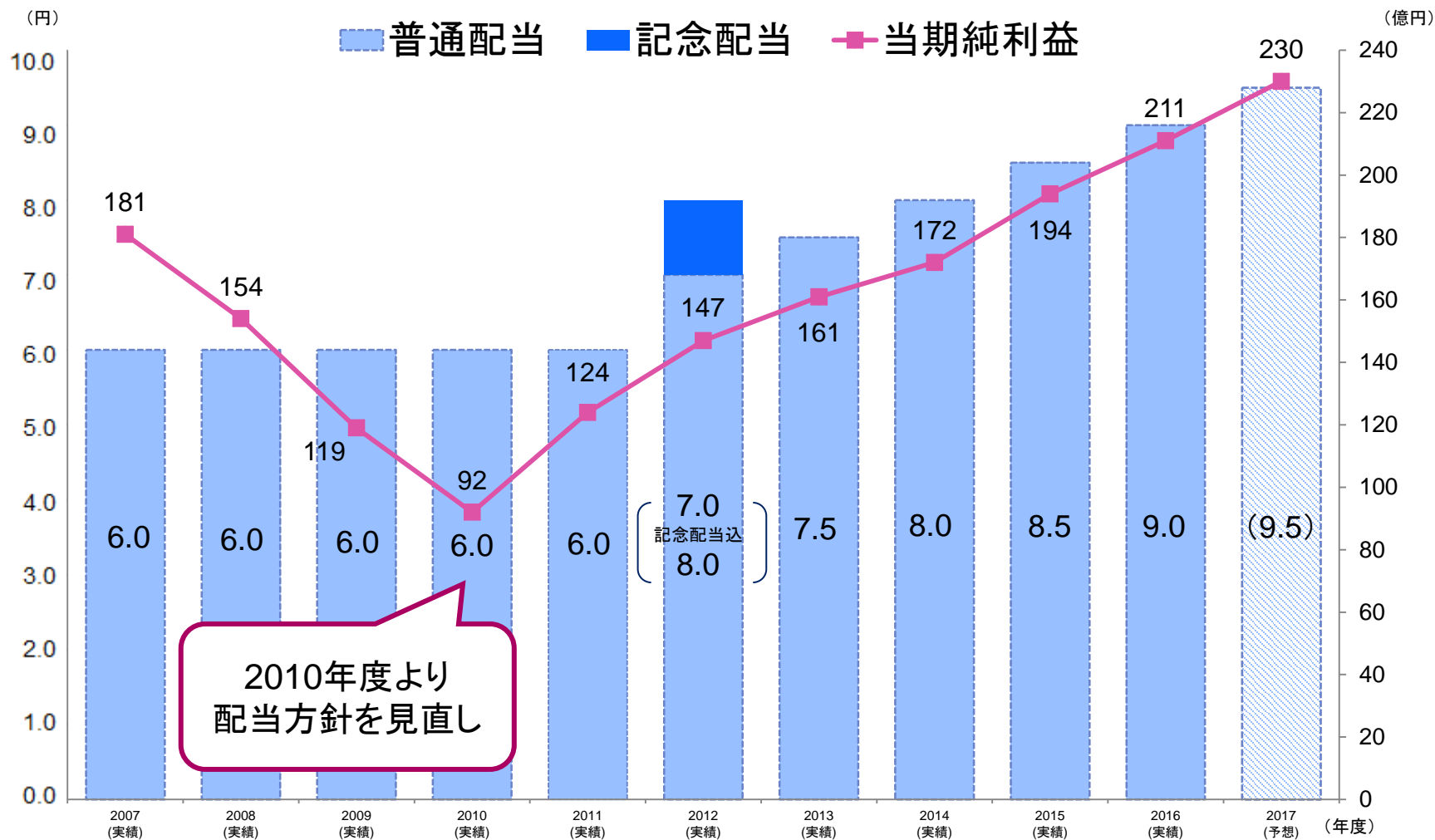
客 室 稼 働 率	79.9%	80.6%	0.7P
-----------	-------	-------	------

2.セグメント情報(その他業)

(単位：億円、%)

	2016年度 実績	2017年度 予想	増減(増減率)	増減要因
(ビル総合管理業)	237	241	3 (1.6)	
(車両整備業)	102	95	△ 7 (△ 7.2)	
(建築・土木業)	214	232	17 (8.0)	完成工事高の増加など
(その他)	75	78	3 (4.8)	
(消去)	△ 32	△ 26	5 —	
営業収益	597	621	23 (3.9)	
営業利益	39	49	10 (26.0)	
減価償却費	3	3	0 (5.3)	
資本的支出	10	8	△ 2 (△ 20.9)	
E B I T D A	42	53	10 (24.4)	

3. 連結当期純利益および配当の推移



連結配当性向30%を目安とする株主還元を継続

※2016年度の配当は、本年6月開催予定の第96期定時株主総会に付議する予定。

4.[参考]上期の業績予想(連結損益計算書・セグメント情報)

(単位：億円、%)

	営業収益			営業利益		
	2016年度 上期実績	2017年度 上期予想	増減 (増減率)	2016年度 上期実績	2017年度 上期予想	増減 (増減率)
運 輸 業	652	656	3 (0.6)	102	98	△ 4 (△ 4.3)
流 通 業	746	767	20 (2.7)	20	18	△ 2 (△10.3)
不 動 産 業	187	214	26 (14.4)	51	51	0 (0.1)
レジャー・サービス業	383	389	5 (1.5)	41	37	△ 4 (△10.3)
そ の 他 業	214	266	51 (24.1)	7	13	6 (83.6)
連 結 修 正	△ 158	△ 162	△ 4 —	0	△ 1	△ 1 —
合 計	2,025	2,130	104 (5.1)	224	218	△ 6 (△ 2.8)

(単位：億円、%)

	2016年度 上期実績	2017年度 上期予想	増減 (増減率)	
連結経常利益	213	205	△ 8	(△ 3.9)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	144	136	△ 8	(△ 6.2)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。